



目次 剣道日本

表紙撮影 窪田正仁 表紙デザイン トモ・ヒコ
デザイン・DTP/トモ・ヒコ 沖田匡宏
本誌掲載の記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。

002 Prologue

005 **特報① 全日本女子選手権大会**
妹尾舞香、見せた格の違い

013 **序盤戦ピックアップ**

016 **戦いを終えて**

018 **出場選手一覧**

020 **全日本実業団大会**
九州電力、コロナ禍の初優勝

026 **特集**
優位に立てる
コロナ禍の戦い方

028 **醍醐味を味わえる剣道に変わる**
香田郡秀 (範士八段)

042 **大分・明豊中学・高校の技の練り方**
解説・岩本貴光 (教士七段)

056 **“引き上げる”から“掘り下げる”へ**
潮田中学校 (神奈川)

062 **原点の見直しと足の強化**
藤原康宏 (皇宮警察・教士八段)

070 **短い竹刀の活用**
近藤光 (愛興館)

074 **特集エピローグ 道しるべ②**

大会・イベント
086 **関東学生優勝大会**

089 **関東女子学生優勝大会**

092 **展望・全日本選手権大会**

098 **三道六・七段合格者一覧**

強豪選手の必勝技「ツワモノ」に学べ！
077 **②⑩ 諸岡温子** (中央大学3年)

海外実力派剣士登場
102 **⑨ Sabrina Kumpf** (ドイツ)

コラム 馬場欽司
104 **敗者はいない**
165 東京パラリンピックの感動と学び

剣道女子
105 **③⑥ 北井沙樹** (淑徳巣鴨高校3年)

名手を選んだ剣道具
110 **②④ 若林耕多** (埼玉・教士八段)

094 **各種イベント情報**
マニトバ剣道クラブ50周年セミナー(カナダ)、東海学生大会(団体・個人)、岐阜県可児市に漱玉館道場完成、Book Guide

100 **読者投稿ページ 剣客万来**

114 **編集後記・次号予告**

前号の予定と内容が変更している箇所があります。

特典映像 **明豊中学・高校の稽古**

QRコードは43ページに掲載

皇宮警察の4人稽古

QRコードは68ページに掲載

第63回全日本実業団剣道大会

令和3年9月25日(土) 墨田区総合体育館 主催◆全日本実業団剣道連盟

取材◆岡井博史 撮影◆窪田正仁

九州電力(本店) コロナ禍の初優勝

チーム最年長、大将を務めた
西村龍太郎(写真中央)が最
優秀選手賞を受賞した

優勝◆九州電力(本店)
平井仁志(28歳)、秋山健太(24歳)、平岡良脩
(24歳)、松尾倫太郎(23歳)、西村龍太郎(31
歳)、増田貴大(31歳)。監督=竹本哲(50歳)
※記念写真撮影のためマスクを外しています



チーム \ 順	先	次	中	副	大	得点
九州電力 (本店)	平井	秋山	平岡	松尾	西村	4
		⊗コ	⊗メ	⊗メ	⊗コ	8
	⊗					1
NTT東日本 (東京)	河崎	新名	渡部	阿南	竹越	1

決勝 【次鋒】 **秋山** 九州電力・本店 ⊗コー **新名** NTT東日本・東京

▲先鋒戦で敗北を喫した九州電力だが次鋒秋山がすぐさま反撃。力強くメンを打ち込で一本奪うと(写真)、続いて竹刀を大きくかついでからのコテを追加。ここから九州電力が怒涛の猛攻

平常時であれば300を超えるチームが参戦するこの全日本実業団大会だが、現在はコロナ禍。大会当時は東京都もまだ緊急事態宣言下にあり、結果的な参加チーム数は79にとどまった。無観客開催ということも併せて「賑わい」という点においては例年とは比較にならぬ寂しさを感じさせたが、それでも会場に集ったのはいずれも精鋭。前回大会(2019年開催)覇者のNTT(本社)をはじめとした実力あるチームが揃った。実業団剣道界随一の選手層の厚さを誇るNTTは、本社チームの見事な戦いぶりはもちろんのこと、その他関連チームも快進撃。準々決勝時点で実に4チームが残っていた。

しかし、NTTの上位独占も予想された大会を制したのは九州電力(本店)。九州電力は過去にも入賞経験がある強豪だが優勝は今回が初。遠く福岡県からの参戦には並々ならぬ思いがあったようで、それは竹本哲監督の「コロナ禍で稽古の取り組みひとつも難しかった。今回九州からの参加は2企業だけ。他の企業さんからは応援メッセージをいただいて、九州を代表するつもりで戦いました」というコメントからも感じ取れた。



チーム	順	先	次	中	副	大	得点	代
NTT東日本 (東京)		河 崎	新 名	渡 部	阿 南	竹 越	1	阿 南
		⑤ メ	×	×	②		2	コ
NTT (本社)		丸 山	山 田	榎 本	齊 藤	兵 藤	1	兵 藤
					⑤		2	

準決勝【代表】 阿南 NTT東日本・東京 **コ一** **兵藤** NTT・本社

▲同門対決となった準決勝。前年度覇者であり6月の関東大会も制している本社チームに対して東京チームが肉薄。勝負は代表戦へともつれ込む。代表戦の決着は試合開始からすぐ訪れた。東京チームの阿南のコテが決まった(写真)



チーム	順	先	次	中	副	大	得点
九州電力 (本店)		平 井	秋 山	平 岡	松 尾	西 村	2
		×	×	×	②	③メ	4
スターゼン (品川)		小 川	浦 出	梅 本	堀 川	松 澤	0
							1

準決勝【大将】 西村 九州電力・本店 **③メ一** **松澤** スターゼン・品川

▲初の入賞を遂げたスターゼン。中堅戦まで引き分けとなりこのまま初の決勝進出も叶えたいところだったが九州電力は強かった。副将松尾の勝利を受けた西村が鋭いコテ、そして竹刀を大きく振ってのメン(写真)を決めてスターゼンを突き放した



準々決勝 【代表】 **竹越** NTT東日本・東京 判一 **大浦** トップパン・フォームズ・本社

チーム	順	先	次	中	副	大	得点	代
NTT東日本 (東京)		河 寄 ⑤	新 名 ×	渡 部 ×	阿 南 ×	竹 越 ⑤	1 1 1	竹 越 判
トップパン・ フォームズ (本社)		森 川	ペ リ ー	南	諏 訪	大 浦	1	大 浦

▲大将戦の敗北によって代表戦に持ち込まれたNTT東日本。大将戦で敗れている竹越だったがここではチームの期待を背負って再び試合場へと足を踏み入れた。両者良い技を繰り出すも延長5分を戦い終えても有効打はなし。大会試合要領に則り判定決着となり竹越に軍配が上がる(写真は攻防。背中が竹越)



準々決勝 【大将】 **松澤** スターゼン・品川 ⑤— **下村** NTT東日本・千葉

チーム	順	先	次	中	副	大	得点
スターゼン (品川)		小 川	浦 出	梅 本	堀 川	松 澤 ⑤	1 1 0
NTT東日本 (千葉)		大 津	河 村	若 松	船 橋	下 村	0

▲選手層の厚いNTT東日本に対して粘るスターゼン。先鋒から副将までを引き分けに終えて勝負を大将戦に持ち込む。ここでメンで一本先制したのはスターゼンの松澤(写真左)。その後は下村の猛攻もしのぎ切り、スターゼンが勝利した



準々決勝 【中堅】 **平岡** 九州電力・本店 ⑤メ— **金成** NTT東日本・本社

チーム	順	先	次	中	副	大	得点
九州電力 (本店)		平 井	秋 山	平 岡	松 尾	西 村	3 5 2
NTT東日本 (本社)		⑤	金 井	金 成	米 谷	了 戒	2 1

▲先鋒戦を落とした九州電力。しかし次鋒秋山の活躍でスコアをすぐさまタイへと戻した。勝負どころの中堅戦では平岡が本領発揮。力強いメンを連取してチームにリードをもたらした(写真は平岡の攻め)



準々決勝 【代表】 **兵藤** NTT・本社 コー— **勇** 三菱商事・本店

チーム	順	先	次	中	副	大	得点	代
NTT (本社)		丸 山	山 田	榎 本	齊 藤	兵 藤	1 1 1	兵 藤 コ
三菱商事 (本店)		⑤	重 黒 木	中 嶋	伊 藤	持 原 勇	1	勇

▲有力な若手選手を揃えた三菱商事が王者・NTTと五分の戦いを繰り広げた。副将の勝利で代表戦へと持ち込んだのは三菱商事。注目を集めた大将同士の代表戦はNTTの守護神・兵藤がさすがの力を見せてコテを奪った(写真背中が兵藤)



5回戦 NTT(本社) 2(3)―1(2)伊田テクノス(千葉)

【中堅】 榎本 ⊗― 伊藤

▲実業団剣道会界を代表する強豪チームが激突。先鋒丸山が敗れて黒星スタートを切ったNTTは次鋒の山田が一本勝ちですぐさま追いつく。中堅戦、NTTの榎本が伊藤のコテを誘い出してその技を受けざまにメン(写真)。これが見事に決まった



5回戦 三菱商事(本店) 2(4)―1(2)JR東日本クロスステーション(本社)

【大将】 勇 ⊗メ― 岡田

▲三菱商事が中堅伊藤で先制するもJRクロスステーションも副将戦を勝利。同点同本数で大将戦を迎えた。ここでは三菱商事の勇が高いポテンシャルを発揮してメンを連取。チームの勝利を確定させた(写真は一本目のメン)



5回戦 スターゼン(品川) 3(4)―0(0)トールエクスプレスジャパン(東京)

【次鋒】 浦出 ⊗― 丸山

▲過去本社チームが2度の3位入賞を果たしているトールエクスプレスジャパン。ここでは東京チームがベスト8進出に迫ったが今回大躍進のスターゼンが先鋒、そして次鋒と連勝(写真は次鋒戦の攻防。右が浦出)。中堅、そして副将が引き分けに終わり、その時点で勝負が決まった



5回戦 トップラン・フォームズ(本社) 3(5)―2(4)大同特殊鋼(星崎)

【副将】 諏訪 ⊖― 高津

▲先鋒戦から互いに有効打突を奪い合う激闘は中堅里山の一本勝ちによって大同特殊鋼がリード。なんとか挽回したいトップラン・フォームズ・諏訪はチームの期待に応えるべく鋭い攻めを見せて見事なコテを奪取(写真)。トップラン・フォームズは大将の大浦も勝利した



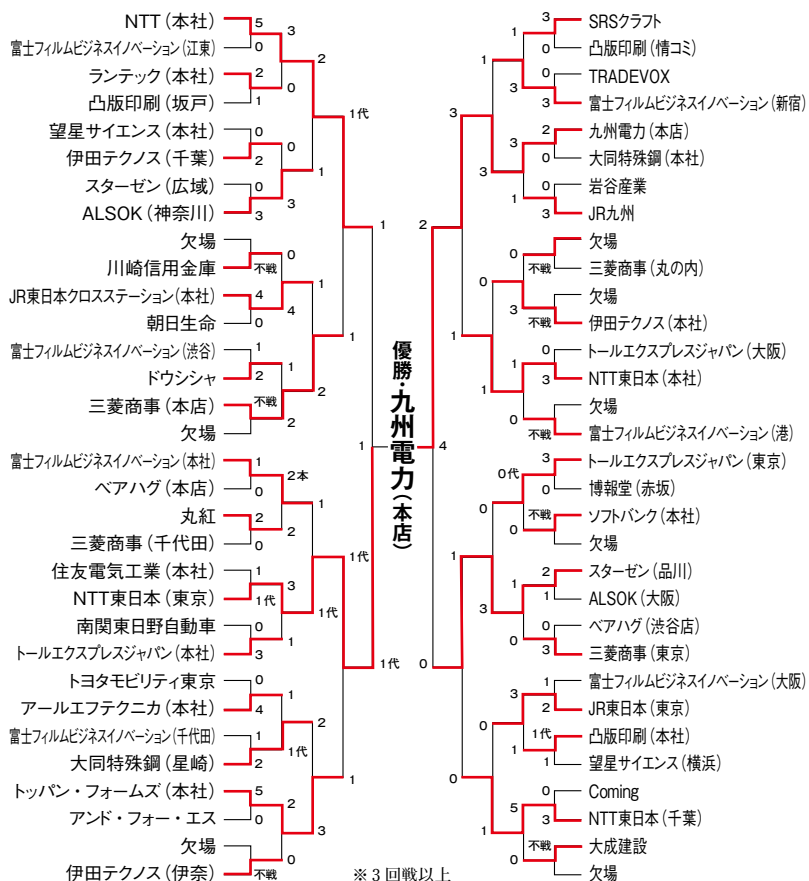
2位◆NTT東日本(東京)
河寄遼(23歳)、新名敬介(24歳)、渡部晃(30歳)、阿南隼人(36歳)、竹越充(34歳)、高橋徹士(27歳)。監督=三代大輔(46歳)※記念写真撮影のためマスクを外しています



3位◆スターゼン(品川)
小川雄飛(25歳)、浦出裕太(27歳)、梅本雄一(25歳)、堀川智矢(23歳)、松澤勇輝(25歳)。監督=矢野勉(65歳)※記念写真撮影のためマスクを外しています



3位◆NTT(本社)
丸山大輔(24歳)、山田将也(24歳)、榎本雄斗(29歳)、齊藤将吾(31歳)、兵藤裕則(29歳)、早川威(27歳)。監督=谷裕二(53歳)※記念写真撮影のためマスクを外しています



5回戦 九州電力(本店) 3(4) - 1(1) 富士フィルムビジネスイノベーション(新宿)

【次鋒】 秋山 ⊗ — 工藤

▲先鋒戦引き分けのあとの次鋒戦。九州電力・秋山のメンが見事に決まった(写真)。貴重な一勝を得た九州電力は中堅・平岡が二本勝ちしてさらにリードを広げた。富士フィルムビジネスイノベーションも副将・岡北が一本勝ちで粘るが大將戦は九州電力・西村が勝利した



5回戦 NTT東日本(東京) 1(1)代 - 1(1) 富士フィルムビジネスイノベーション(本社)

【代表】 河寄 — 東郷

▲強豪選手がズラリと揃う両チームの勝負はやはり接戦。代表戦へともつれ込んだ。富士フィルムビジネスイノベーションは大將の東郷が、NTTは先鋒の河寄が出陣。惜しいメンを何度か見せていた若手の河寄が最後はその技を一本にした(写真は攻防)



5回戦 NTT東日本(本社) 1(2) - 0(1) 伊田テクノス(本社)

【大將】 了戒 * 石山

▲強豪伊田テクノスの本社チームに対して若手中心のNTTが次鋒の一本勝ちでリードを奪う。伊田テクノスは中堅から図末、福居、石山と強力なメンバーが揃っていたがNTTの選手たちはそれぞれ粘り、次鋒の1勝を守り切った(写真は大將戦、了戒の攻め)



剣道日本
YouTube チャンネル

大会の試合動画がご覧いただけます。QRコードかURLからアクセスしてください
<https://bit.ly/3aaeaJk>